

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成23年4月（平成23年11月一部推計値見直し）

北九州市小倉地区（福岡県）

・平成22年度フォローアップ結果のポイント

計画期間；平成20年7月～平成25年3月（4年9月）

1. 概況

基本計画掲載事業103事業のうち、15事業が完了、82事業が実施中、6事業が未着手である。

公共事業では、平成22年10月に九州厚生年金会館がリニューアルオープンしたほか、「JR小倉駅北口ペDESTリアンデッキの整備」が平成22年12月に完成し、「浅野町線(シンボルロード)整備」が平成23年度に完成予定、「(仮称)北九州市漫画ミュージアム整備事業」については、基本協定を結び、平成24年度のオープンを目指して事業推進を図っているなど概ね予定通りの進捗である。

民間事業においては、依然として厳しい昨今の経済状況から、「小倉駅南口東地区市街地再開発事業」や「チャチャタウン小倉2期開発事業」など一部の事業で着手に時間を要しているものの、小倉駅北口で進められていた「小倉記念病院新築移転事業」が平成22年12月に完了したほか、平成23年2月に街なか居住を促進する「西小倉駅前第一地区市街地再開発事業」などが完了した。

また、これらの事業進捗に加えて、まちの魅力など様々な情報を集約・発信する地域一体のネットワークによりまちの魅力発信などの取組を進める「WeLove小倉プロジェクト」、来訪者の回遊を促進する「都心部「通り名」命名推進事業」など、新たに7事業（公共事業：5事業、民間事業：2事業）を追加し、都心部の魅力づくりを地域が一丸となって進めている。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回見通し	見通し
広域商業拠点の賑わいの向上	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	146,958人/日 (H19年)	177,000人/日 (H24年)	149,719人/日 (H22年)		
	既存の主要大型商業施設の年間来店者数	48,695,683人/年 (H18年度)	52,000,000人/年 (H24年度)	47,105,365人/年 (H21年度)		
文化的で非日常的な都心の魅力向上	主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	約165万人/年 (H18年度)	197万人/年 (H24年度)	146.7万人/年 (H21年度)		
昼間人口の拡大による活力向上	事業所従業者数（民営）	64,612人 (H18年)	69,000人 (H24年)	68,056人 (H22年)		

注）取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」については、昨今の厳しい経済状況から、スケジュールが遅れている事業があるものの、これまで継続的に実施してきた「小倉地区賑わい回復イベント事業」などの様々なソフト事業の効果や、平成22年12月オープンの「小倉記念病院新築移転事業」などの主要ハード事業が一部完了した効果により、市内外からの来街者の増加が見られ、前年度までの減少傾向から増加に転じている。また、進捗していない事業についても関係者が連携し、早期の事業着手を目指しており、本年に入り、「(仮称)浅野複合老健施設新築事業」や「魚町3丁目複合商業施設開発事業」なども着工し、更に「WeLove小倉プロジェクト」や「九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業」などの新たなソフト事業に着手していることから、今後も積極的な事業進捗を図ることで、目標の達成は可能と見込まれる。

「既存の主要大規模商業施設の年間来店者数」については、「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」と同様の事業が数値目標達成に影響するが、当該指標に特に影響が大きい拠点開発等の事業が進んでいないことから増加には転じていないものの、概ね横ばいとなっている。上記と同様、進捗していない事業についても、今後も積極的な事業進捗を図ることで、目標の達成は可能と見込まれる。

「主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数」については、昨今の景気後退による展示会の縮小等により減少しているものの、ホール機能の存続が危ぶまれていた九州厚生年金会館が、市民要望を受けて、市が直接購入し、リニューアルすることで、都心ならではの大規模ホールの機能が存続維持できた「九州厚生年金会館リニューアルオープン事業」、駅前の商業ビルに入居が決まり、コンセプトビル全体の再生と一体的に行われることで相乗効果が期待できる「(仮称)北九州市漫画ミュージアム整備事業」などにより、目標の達成は可能と見込まれる。

「事業所従業者数」については、平成22年12月オープンの「小倉記念病院新築移転事業」のほか、「(仮称)旧小倉ホテル跡地整備事業」、「(仮称)浅野複合老健施設新築事業」及び「魚町3丁目複合商業施設開発事業」の着実な進捗により多くの雇用創出が期待できることに加えて、遅れが生じている事業の早期調整・事業着手により、目標の達成は可能と見込まれる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

見通しは変わっていない。

5. 今後の対策

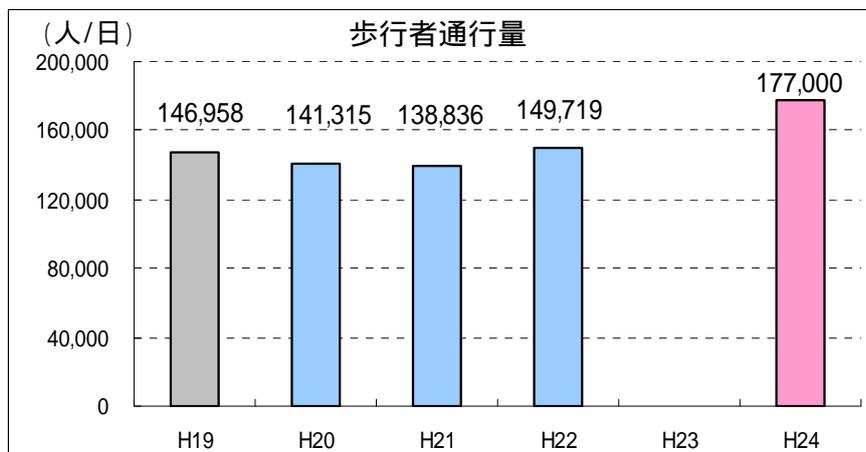
中心市街地活性化協議会を中心に、更なる事業間の調整や連携に加えて、事業促進のために強化したマネジメント体制を持続させる。

これにより、現在の取組みを着実に進めていくとともに、遅れが生じている事業の調整・着手、地域の魅力をさらに高める効果的な新規事業の追加など、目標達成に向けた取組みを着実に進めていく。

・目標毎のフォローアップ結果「広域商業拠点の賑わいの向上」

「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」 目標設定の考え方基本計画 P70～P71 参照

1. 調査結果の推移



年	(人/日)
H19	146,958 (基準年値)
H20	141,315
H21	138,836
H22	149,719
H23	
H24	
H24	177,000 (目標値)

調査方法；実測数の平均

調査月；H20～H21：8月下旬～9月上旬

H22：8月、10月、12月、2月の平均値

調査主体；北九州市

調査対象；商業集積エリア内の11ヶ所における歩行者通行量（9時～19時）

最新年の晴天日：8/28（土）154,472人/日
基準年の晴天日：8/25（土）154,195人/日

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・小倉記念病院新築移転事業（(財)平成紫川会）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	総合病院の整備 24診療科目 658床
事業効果又は進捗状況	平成22年12月に移転開院し、約3,000人/日の利用が見込まれる。

・魚町銀天街ショッピングモール化事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	2つの商店街をつなぐ国道上のアーケードの新設と既存アーケードの改修、商店街活性化に向けた一体的なソフト事業の実施。
事業効果又は進捗状況	平成22年3月にアーケードが完成し、商店街の回遊性向上に寄与。今後も引き続き、逸品屋フェアなどの商店街活性化のソフト事業を実施する。

・小倉地区賑わい回復イベント事業（小倉中央商業連合会）

事業完了時期	【実施中】平成12年度～
事業概要	都心部の賑わいと消費拡大をテーマとした集客促進のイベントの実施
事業効果又は進捗状況	毎年、様々な工夫を凝らし、「大道芸フェスティバル(5月)」や「十日ゑびす(1月)」、「小倉食市食座(2月)」を実施し、また、九州新幹線全線開業に合わせて、規模・エリアを拡大して、「小倉さくらまつり(3月)」を実施するなどにより、主要大規模商業施設の来店者数の向上にも寄与している。

・小倉都心賑わいづくり推進事業（紫川、勝山公園の魅力を生かした四季折々のイベント）（北九州市/実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成14年度～
事業概要	紫川周辺の公共空間を活用したイベント等を開催
事業効果又は進捗状況	平成22年度は、イベント数11件で、延べ来場者約167万人を集客するなど紫川や勝山公園を中心に、季節に応じた特色のあるイベントを実施し、賑わいや回遊性の向上に寄与。

・魚町銀天街ICポイントカードシステム事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	ICカードを用いたポイントカードの導入
事業効果又は進捗状況	平成22年4月よりポイントカード事業開始。 多様な事業主体と連携したICカード事業を実施するほか、カードシステムを活用したイベントなどを実施し、商店街の賑わいの回復を図る。

・アーケード内の道路空間を利用した情報発信事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	アーケード内の情報発信と広告事業
事業効果又は進捗状況	平成22年4月にデジタルサイネージ（電子看板）を整備し、商店街や街の様々な情報を発信することで、商店街の活性化を図る。平成22年度広告依頼受託：29件。

・旦過第一地区市街地再開発事業（旦過第一地区市街地再開発組合（予定））

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	旦過市場の再整備
事業効果又は進捗状況	古い商店街を再開発し、新たな集客核とする事業。 現在、再開発による地権者の協議に時間を要しており、全体のスケジュールは遅れているが、都市計画決定に向けて施設計画等を検討中。

・チャチャタウン小倉2期開発事業（西日本鉄道株）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	バス営業所、バス駐機場、商業施設、駐車場を備えた複合施設の整備
事業効果又は進捗状況	世界的な不動産不況や高速道路ETC割引等によるバス事業の収益の悪化などにより、事業主体である西日本鉄道株が事業着手時期を慎重に見極めたいとしてスケジュールが遅れているが、引続き事業化に向けて検討中。

・小倉駅北口商業ビル（ラフォーレ跡）再生事業（株アパマンショップホールディングス）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	既存のラフォーレビルを活用して小倉駅北口地区の新たな拠点として再生を図る。
事業効果又は進捗状況	平成22年2月に北九州市漫画ミュージアムが当ビルの6、7階に入居することが決定（平成23年4月に5、6階に変更を発表）し、これを核とした関連テナントの誘致を積極的に進め、平成23年度に着工、平成24年度の開業を予定している。

. (仮称) 北九州市漫画ミュージアム整備事業 (北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	漫画文化の拠点整備 約2,000㎡(予定)
事業効果又は進捗状況	平成22年2月に小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)6、7階で整備することを決定(平成23年4月に5、6階に変更を発表)し、平成22年5月に基本協定を締結。平成22年度に設計に着手し、平成24年度オープンを目指し、整備を推進する。

. 【追加】(仮称) 旧小倉ホテル跡地整備事業 (住友不動産株)

事業完了時期	【実施中】平成22年度～平成24年度
事業概要	医療モール、分譲住宅、商業施設及び交流センターの整備
事業効果又は進捗状況	平成23年2月に解体工事着手し、平成25年3月竣工予定。

. 【追加】魚町3丁目複合商業施設開発事業 (有)リアルエステート)

事業完了時期	【実施中】平成21年度～平成23年度
事業概要	地産地消の生鮮食品を中心とした商業施設及びトイレや駐車場等の利便施設の整備
事業効果又は進捗状況	平成21年度から基本設計・実施設計及びテナントリーシングを進め、平成22年度に着工。平成23年度内の完成(予定)。商店街活性化のためのソフト事業もあわせて実施することにより、新たな集客核として期待される。

. 【追加】魚町商店街コミュニティスペース建築事業 (魚町商店街振興組合)

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	商店街内の空地を活用して、コミュニティスペースや会議室、トイレなどの利便施設やチャレンジショップ(3階建て125㎡)を整備する。
事業効果又は進捗状況	コミュニティスペース等が平成22年3月に完成し、来街者の利便性向上や街の情報発信拠点として賑わい創出に寄与。

. 【追加】We Love小倉プロジェクト (We Love小倉協議会/実行委員会)

事業完了時期	【実施中】平成22年度～
事業概要	市内外に向けたまちの情報発信や、四季折々のイベント等と連携したプロモーションイベントの実施、来訪者へのおもてなし活動、歩行者天国などの新たな魅力づくりなど、地域一体による取り組みを進める。
事業効果又は進捗状況	平成22年10月We Love小倉協議会を発足し、キックオフイベントを開催。平成23年2～3月九州新幹線全線開通を記念して、テイクオフキャンペーンを実施。

・【追加】「九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業」（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成22年度～
事業概要	九州全島及び関西以西をターゲットとした広域からの来街者誘導活動
事業効果又は進捗状況	平成22年度は、九州新幹線全線開通に伴い、誘客重点エリアである広島、熊本、鹿児島において、旅行会社等への積極的なセールス活動やフリーペーパーなどの地元メディアを活用した周知活動を展開するとともに、同エリアの主要駅における観光イベントや交通広告を活用したPRキャンペーンを積極的に行うことで北九州市の多彩な魅力の発信に務め、小倉地区を含めた北九州市への一層の観光客集客に寄与。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

昨今の厳しい経済状況から、スケジュールが遅れている事業があるものの、「魚町銀天街ICポイントカードシステム事業」や「小倉BQ食KING」等を行う「小倉都心賑わいづくり推進事業」などのソフト事業の継続的な実施による効果や、「アーケード内の道路空間を利用した情報発信事業」や「小倉記念病院新築移転事業」などの主要ハード事業が一部完了した効果により、市内外からの来街者の増加が見られ、商店街エリアを中心とした歩行者通行量は、増加に転じている。

また、昨年度新たにスタートした「We Love小倉プロジェクト」による地域一体での魅力発信の取組、ポイントカードの普及促進による利便性・サービスの向上が図られるなど、今後は一層まちの賑わい創出の効果も見込まれる。

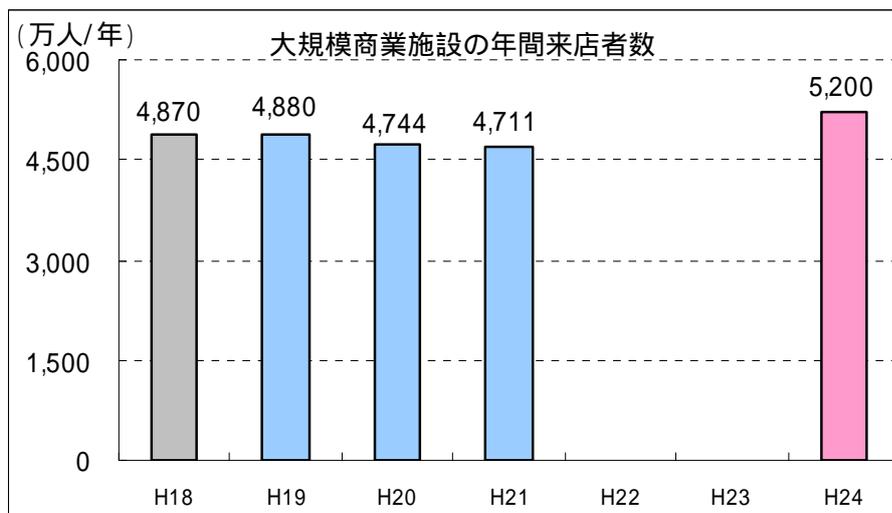
着手に時間を要している事業については、事業化に向けた準備を鋭意進めるとともに、現在、事業中である「(仮称)浅野複合老健施設新築事業」、「魚町3丁目複合商業施設開発事業」などの着実な進捗や「We Love小倉プロジェクト」、「九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業」などの追加事業を着実に実施することで、数値目標の達成は可能と見込まれる。

今後とも、基本計画に位置付けられた事業の着実な進捗とともに、追加事業の掘起しなど地域が一体となって取り組む。

・目標毎のフォローアップ結果「広域商業拠点の賑わいの向上」

「既存の主要大規模商業施設の年間来店者数」 目標設定の考え方基本計画 P70、P80 参照

1. 調査結果の推移



年	(人/年)
H18	48,695,683 (基準年値)
H19	48,798,514
H20	47,443,153
H21	47,105,365
H22	
H23	
H24	
H24	52,000,000 (目標値)

調査方法；主要大規模商業施設からの報告による実績値合計

調査月；毎年度（通年）

調査主体；北九州市

調査対象；小倉都心地区内の主要大規模商業施設（井筒屋、リバーウォーク北九州、チャチャタウン小倉、セントシティ北九州、アミュプラザ）における来店者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・魚町銀天街ショッピングモール化事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

【再掲 P. 3 参照】

・小倉地区賑わい回復イベント事業（小倉中央商業連合会）【再掲 P. 3 参照】

・井筒屋リニューアル事業（株井筒屋）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	井筒屋の店舗のリニューアル事業
事業効果又は進捗状況	井筒屋本店やコレットの改装を順次行っており、コレットに平成21年3月にはロフト、無印良品、6月には福岡デザインコレクションがテナントとして入居するなど都心部の魅力づくりに貢献している。

・チャチャタウン小倉2期開発事業（西日本鉄道株）【再掲 P. 4 参照】

・小倉駅北口商業ビル（ラフォーレ跡）再生事業（株アパマンショップホールディングス）

【再掲 P. 4 参照】

・（仮称）北九州市漫画ミュージアム整備事業（北九州市）【再掲 P. 5 参照】

・【追加】（仮称）旧小倉ホテル跡地整備事業（住友不動産株）【再掲 P. 5 参照】

・【追加】魚町3丁目複合商業施設開発事業（有）リアルエステート）【再掲 P. 5 参照】

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

昨今の厳しい経済状況から、スケジュールが遅れている事業があるものの、四季折々の多様な集客イベントを行う「小倉地区賑わい回復イベント事業」や「小倉都心賑わいづくり推進事業」などの実施により、既存の主要大規模商業施設の年間来店者数は、増加は見られないものの、概ね横ばいとなっている。

今年度は、九州新幹線全線開業を記念して、まちとして一体的で大規模に開催される「小倉さくらまつり」をはじめ、商店街や核的商業施設を中心に開催される「小倉大道芸フェスティバル」や「小倉食市食座」といったイベントも小倉の風物詩として定着してきた。大型店舗の取組としても、共同セールスの開催、共同広告や元旦営業の実施、屋外のオープンスペースを活用したイベント実施など各々の店舗の特性を活かしながら創意工夫して取り組んでいる。

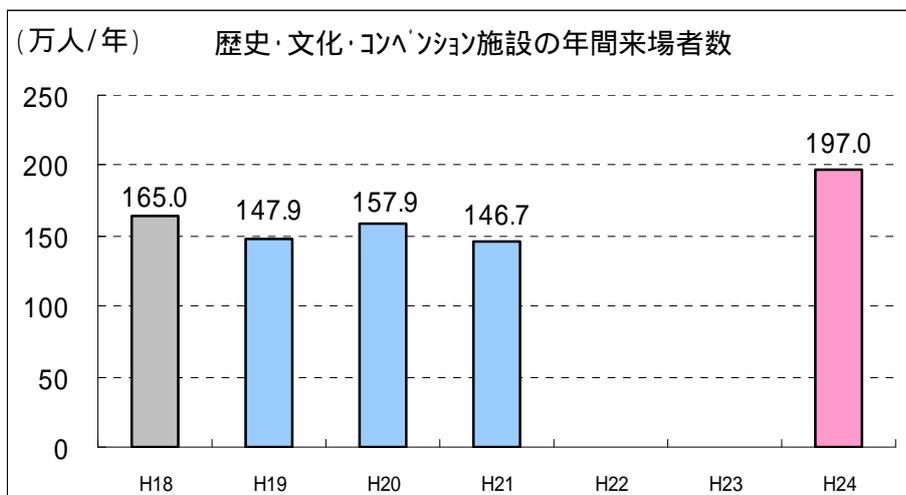
事業着手に時間を要している事業については、事業化に向けた準備を鋭意進めるとともに、現在、事業中である「(仮称)浅野複合老健施設新築事業」、「魚町3丁目複合商業施設開発事業」などの着実な進捗により、まち全体として魅力アップに寄与する事業の更なる進捗を図ることで数値目標の達成は可能と見込んでいる。

今後とも、基本計画に位置付けられた事業の着実な進捗と、新たな活性化事業の検討に地域が一体となって取り組む。

・目標毎のフォローアップ結果「文化的で非日常的な都心の魅力向上」

「主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数」 目標設定の考え方基本計画 P70、P89 参照

1. 調査結果の推移



年	(万人/年)
H18	165.0 (基準年値)
H19	147.9
H20	157.9
H21	146.7
H22	
H23	
H24	
H24	197.0 (目標値)

調査方法；各施設からの報告による実績値合計

調査月；毎年度（通年）

調査主体；北九州市

調査対象；小倉都市地区内の主要な歴史・文化・コンベンション施設（小倉城、小倉城庭園、松本清張記念館、水環境館、北九州芸術劇場、北九州市立美術館分館、北九州市立文学館、北九州国際会議場、西日本総合展示場新館・本館）の来場者数

最新年度の歴史・文化施設来場者数：81.6万人/日
前年度の歴史・文化施設来場者数：78.3万人/日

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・松本清張記念館普及事業（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	企画展及び講習会等の開催
事業効果又は進捗状況	平成22年度は前年度の「松本清張生誕100年記念事業」により全国に周知した実績を踏まえ、講演会などのイベントを実施し、特別企画展には前年度に続き約2万人の来場者を記録。引き続き企画展や講演会等を実施する。

・北九州市立美術館分館企画展示事業（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	絵画をはじめ、絵本展、工芸展、ポスター展など幅広いジャンルの展覧会を開催。
事業効果又は進捗状況	平成22年度は、世界的に著名な作家を紹介する展覧会をはじめ、コレクションを活用した現代美術展、地元作家による染色作品展、絵本展などを開催。なかでも「ポーランドの至宝展」の来場者は10万人を超え、分館開館後の展覧会では最多の来場者数となった。引き続き、多彩な展覧会を実施する。

・（仮称）北九州市漫画ミュージアム整備事業（北九州市）【再掲 P. 5 参照】

. 浅野町線（シンボルロード）整備（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成23年度
事業概要	都市計画道路浅野町線において、周回道路に囲まれた中央広場を多目的に活用できる広場へと整備する。
事業効果又は進捗状況	イベントなどが開催可能な広場として、平成21年度に実施設計を行い、平成22年度内に着工、平成23年度の完成を目指す。

.（仮称）小倉駅北口西駐車場の整備（（財）平成紫川会）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	駐車場の整備 約 15,200 m ²
事業効果又は進捗状況	来街環境の向上策の一つとして、街なかに不足する駐車場を確保するもので、平成21年12月着工、平成22年12月供用開始。

. 小倉都心サイン整備（北九州市）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	小倉都心部内の文化・コンベンション施設等への円滑な誘導、わかりやすい地域情報の提供を目的に歩行者用サインを整備する。
事業効果又は進捗状況	平成22年3月に完成し、都心部の回遊性および周辺施設への来場者増加に寄与。

.【追加】九州厚生年金会館リニューアル（北九州市）

事業完了時期	【済】平成20年度～平成22年度
事業概要	ホール機能の存続が危ぶまれていたが、市民要望を受けて、市が直接購入し、リニューアルすることで、大規模ホールの機能が存続維持できた。ホールの愛称は公募で「北九州ソレイユホール」に決定。
事業効果又は進捗状況	平成22年10月にリニューアルオープンし、コンサートや終日開放イベントなどのリニューアルオープン記念イベントを実施することで都心部の回遊性および周辺施設への来場者増加に寄与。

.【追加】We Love小倉プロジェクト（We Love小倉協議会/実行委員会）【再掲P. 5 参照】

.【追加】九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業（北九州市）【再掲P. 6 参照】

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

昨今の厳しい経済状況によるビジネス関連のコンベンションの大幅な減少により、歴史・文化施設の増加傾向にもかかわらず、本目標の指標である主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数は減少している。

一方、平成22年10月には大規模な文化ホールを再生した「九州厚生年金会館リニューアル」、同年12月には、小倉駅北口地区へのアクセス向上を図る「(仮称)小倉駅北口西駐車場の整備」が完成し、平成23年6月には、新たな賑わい空間を創出する「浅野町線(シンボルロード)整備」が完成予定である。

更に、新たな文化拠点となり、平成24年度早期のオープンを目指す「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」は、漫画をコンセプトとする旧ラフォーレ跡ビル全体との一体的な集客効果が見込まれる。

また、追加事業である「We Love小倉プロジェクト」や「九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業」の実施により、小倉地区への来訪者増を目指し、文化施設等への立ち寄り機会増を図る。

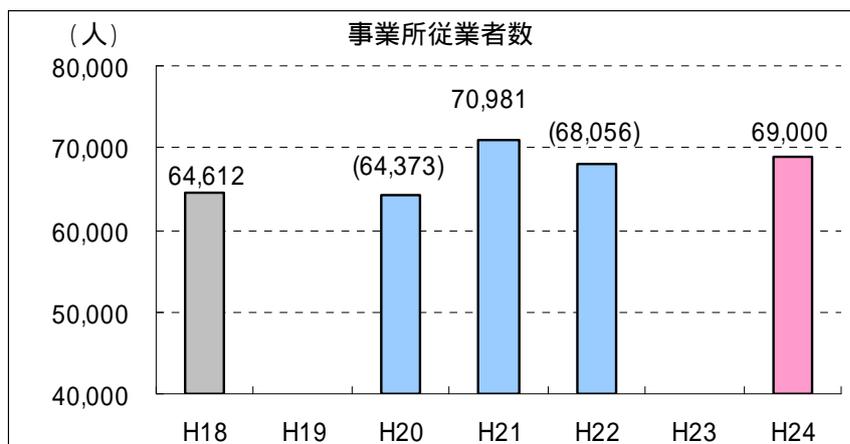
現在、実施中である基本計画に位置付けられた事業を着実に進捗させることで、数値目標の達成は可能と見込まれる。

今後とも、基本計画に位置付けられた事業の着実な進捗と、新たな活性化事業の検討に地域が一体となって取り組む。

・目標毎のフォローアップ結果「昼間人口の拡大による活力向上」

「事業所従業者数(民間)」 目標設定の考え方基本計画 P70、P93 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H18	64,612 (基準年値)
H20	(64,373)
H21	70,981
H22	(68,056)
H23	
H24	
H24	69,000 (目標値)

調査方法；H20 は事業所・企業統計調査による独自推計
 H21 は経済センサス調査による実測値
 H22 は経済センサス調査と業務ビル空室率調査を併せた独自推計
 H21 経済センサスと H18 事業所・企業統計調査では、調査手法が異なる

調査月；毎年 7 月

調査主体；北九州市

調査対象；中心市街地内の民間事業所従業者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ・小倉記念病院新築移転事業（(財)平成紫川会）【再掲 P. 3 参照】
- ・チャチャタウン小倉 2 期開発事業（西日本鉄道株）【再掲 P. 4 参照】
- ・小倉駅南口東地区市街地再開発事業（小倉駅南口東地区市街地再開発組合（予定））

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	業務施設、商業施設、公益施設及び駐車場を備えた民間再開発ビルの整備
事業効果又は進捗状況	保留床の処分について、デベロッパーを中心とする関係者が現在調整中。業務・商業・公益施設等の導入による新規雇用が期待される。

・【追加】(仮称) 浅野複合老健施設新築事業（社会福祉法人風花会）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～平成 24 年度
事業概要	デイサービス・有料老人ホーム・賃貸住宅・交流センター及び立体駐車場の整備
事業効果又は進捗状況	平成 21 年度に実施設計を行い、平成 23 年 3 月から工事に着手する予定。 デイサービスや老人ホームの運営に必要な介護要員などの新規雇用が期待される。

・(仮称) 旧小倉ホテル跡地整備事業（住友不動産株）

【再掲 P. 5 参照】

・魚町 3 丁目複合商業施設開発事業（(有)リアルエステート）

【再掲 P. 5 参照】

・西小倉駅前第一地区市街地再開発事業

事業完了時期	【済】平成19年度～平成22年度
事業概要	住宅、商業施設及び駐車場を備えた市街地再開発事業
事業効果又は進捗状況	平成23年2月に完成。住宅195戸。昼間人口の拡大による活力向上に寄与。

・【追加】街なかオフィス立地促進事業

事業完了時期	【実施中】H22年度～
事業概要	オフィス需要が低迷する都心部において、特にエリア外から移転・増設する都市型オフィス系事務所等について、移転経費の一部を支援するインセンティブにより、都市型業務の進出を促進する。平成23年度からは、中活エリア内に限り補助金の助成期間を延長するなど、都市型オフィスの進出を更に促進する。
事業効果又は進捗状況	携帯電話会社のお客様センター：180人

・【追加】(仮称) TANGAコンプレックス新築事業

事業完了時期	【実施中】平成21年度～平成23年度
事業概要	高齢者施設、テナント、賃貸マンション、イベントホールを備えた民間ビルの整備。
事業効果又は進捗状況	平成22年度に工事着手し、平成23年度の完成予定。昼間人口の拡大による活力向上に寄与。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

平成23年6月に行った平成22年フォローアップでは、平成21年、平成22年ともに推計値を用いてきたが、平成23年6月に平成21年経済センサス調査が公表されたことから、今回、平成21年の数値は統計値へと変更した。これに伴い、平成22年の数値を改めて推計した。

平成21年は国の調査方法の変更や基本計画の取り組みの効果により一旦増加したものの、平成22年は、昨今の厳しい経済状況から、事業者従業員数(民営)は減少に転じている。

平成21年経済センサス調査では、平成18年まで実施されていた事業所・企業統計調査と調査方法が異なり、商業・法人登記等の行政記録の活用や「本社等一括調査」の導入等を図ることで、より確度の高い統計値が示されていると考えられることから、調査方法の変更に起因する数値の変動が存在することに留意する必要がある。例えば、H22以降実施する業務ビル空室率調査による独自推計をH18に遡って実施すると69,862人という結果となることから、調査方法の変更により約5,200人程度増加していると考えられる。このため、双方の数値による単純な増減の比較は出来ないが、基本計画の取り組みにおいて、若年者を中心とした就業相談を行う「若者ワークプラザ北九州運営事業」やベンチャー企業への支援などの就業対策への積極的な取り組みを行ったこと、また、基本計画の間接的な効果として、都心外縁部における沿道型商業施設の開発が進んだことなども増加要因の一つであると考えている。

昨今の厳しい経済状況からスケジュールが遅れている事業があるものの、平成22年9月には、千人以上の雇用がある「小倉記念病院新築移転事業」が完成し、また、追加事業の「街なかオフィス立

地促進事業」により新たなオフィスの立地による新規雇用も出てきている。更に、追加事業である「(仮称)浅野複合老健施設新築工事」、「(仮称)旧小倉ホテル跡地整備事業」、「魚町3丁目複合商業施設開発事業」についても、既に事業に着手しており今後の雇用創出の拡大が見込まれる。

今後も引き続き、事業着手に時間を要している事業について、事業化に向けた準備を鋭意進めることで、数値目標の達成は可能と見込まれる。

今後とも、基本計画に位置付けられた事業の着実な進捗と、新たな活性化事業の検討に地域が一体となって取り組んでまいりたい。